

農地面積 約114万ha

全国の農地面積 約433万haの4分の1

都道府県別の食料自給率

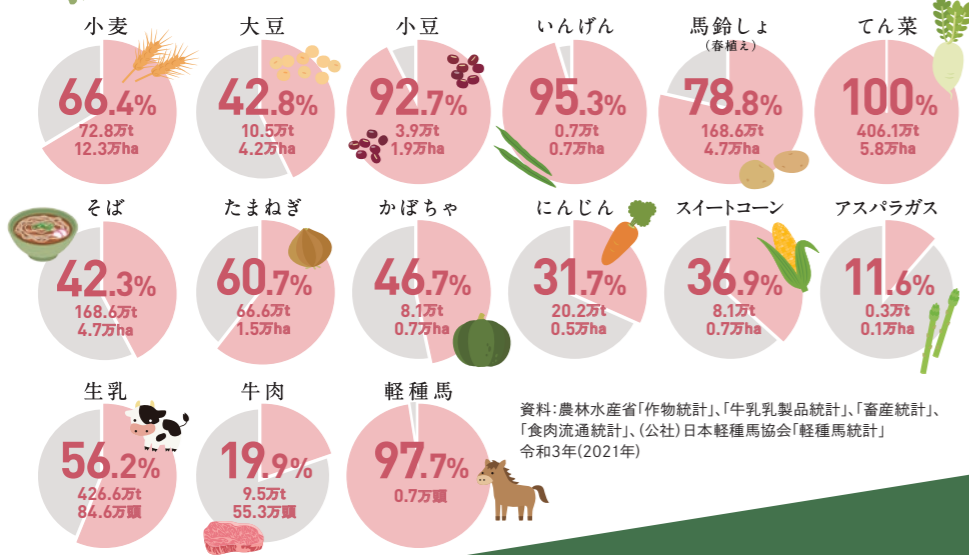
順位	都道府県	食料自給率
1	北海道	223%
2	秋田	204%
3	山形	147%
4	青森	120%
5	新潟	109%

カロリーベース 223% 全国1位 (全国:38%)

Point.1 広大なフィールドで、日本の「食」を支える。

北海道は、我が国最大の食料供給地域として、多くの農畜産物で生産量全国一を誇ります。

北海道が生産量全国一を誇る主な農畜産物



資料:農林水産省「作物統計」、「牛乳乳製品統計」、「畜産統計」、「食肉流通統計」、(公社)日本軽種馬協会「軽種馬統計」令和3年(2021年)

北海道の農業とともに自分自身も成長できる。

Point.2 地域密着。

活気に満ちた魅力ある農村づくり。

農業者のほか、コンサルタントや建設業者など、地域の人たちと連携して農村づくりを進めます。現場が「形」としてできあがったときは、地域の人たちとともに喜びを分かち合い、充実感を味わうことができます。



Point.3 全道に広がる勤務地。

地域の個性、人々、暮らしにふれる。

全道27カ所の勤務地があり、様々な地域で農業農村整備に携わるので、各地域の食・自然・文化などに触れることができます。



Point.4 ステップアップ

「技術者」としての

をバックアップ。



職名	技師				主任	係長・主査
	1年目	2~3年目	4~5年目	6年目~	30代前半~	40代~
農業農村整備関係職員研修	新人研修・積算研修	農政部3年目研修・基礎的技術研修	基礎的工種研修	構造物研修	主任研修	係長級研修
	技術力向上研修(希望者)					
行政職員共通研修	新採用職員研修	採用3年目職員研修			主任級研修	係長級研修
	能力開発研修(希望者)					

業務に必要な技術や知識は、上司・先輩職員の指導のもと、OJTによりしっかり学べます。また、階層に応じた研修(Off-JT)等で着実にステップアップすることができます。

先輩職員の声

十勝総合振興局 南部耕地出張所

工事第三係長 **佐藤 健**

京都大学卒 **2011年採用**

畑の排水改良や区画整理といった工事の監督業務、それに関する予算の管理を主に担当しています。現所属への異動と合わせて昇格し、係長になりました。係長になる前は、情報を整理して上司に判断を仰ぐことが多かったのですが、今は逆の立場で、係員から業務について相談があり、判断を問われるような場面が増えました。

農業土木職は、デスクワークも外勤もあり、仕事の中で関わる人も多いため、良い意味で退屈しない、いいとこ取りな仕事だと思っています。北海道の農業は、広大な規模の経営面積を有しており、北海道庁が扱っている現場の広さを考えると他にはない、やりがいのある仕事だと感じます。地域の農家の方と直接話す機会があるのですが、こちらの想いに納得してもらえると達成感があります。

この職場で
一緒に新しいことを
やっていきましょう！



育児と仕事の両立

長男(3歳)のお迎えなど家事・育児をするため、早出出勤や在宅勤務などの制度を活用しています。子どもが生まれる前には、育児休業など育児に関する制度の活用について上司から提案があり、出生後も随時相談に乗ってもらいました。転動した今の職場でも仕事をする上で配慮があり、育児について理解してもらえる職場だと感じます。



タイムスケジュール

- 6:30 | 起床
- 7:00 | 長女(0歳)の世話
- 7:30 | 自宅を出発
- 7:45 | 始業、デスクワーク ※時差出勤
- 12:00 | 自宅で昼食
- 13:00 | 打合せ等
- 16:30 | 終業
- 16:45 | 帰宅

外勤がある日もあります(週1、2回程度)。



北海道の広大な大地で
一緒に働けることを
楽しみにしています！

道外からの就職(大卒)

農政部 農村振興局 農村計画課

主任 **馬上 絵里子**

東京農業大学卒 **2016年採用**

農業に関係する仕事をするなら、本州にはない広大な土地がいいなと思い、北海道庁を選びました。現在、私は農業農村整備事業の計画策定をする業務を担当しており、地域の皆さんや関係職員と一緒に、地域の将来の整備構想を一から考えられることにやりがいを感じています。農業土木の職場は、いつも話し声が聞こえるなど、にぎやかで和気藹々としておりとても働きやすいです。

北海道庁は全道各地へ転勤があり、大変なイメージを持つ方も多いと思いますが、その分、多くの方と交流を持つことができ、各地で色々な経験ができる職場です。そこにしかない絶景や食べ物、イベントを楽しむことができると感じます。



道外から就職した私が自信を持って
おすすめできる職場です！

道外からの就職(高卒)

日高振興局 農村振興課

技師 **一戸 佳希**

青森県立五所川原農林高等学校卒 **2019年採用**

高校で学んだ知識を活かして働きたいと思い、他府県に比べ採用枠が多く受験しやすかったことや新しい土地・環境で挑戦してみたい気持ちがあったことから北海道庁への就職を決めました。北海道では水田・畑・草地と地域ごとに特色のある農業が展開されており、他府県にはない多種多様な業務を経験できます。また、転勤で道内各地に住むため、様々な地域の人々や文化に触れられることが魅力です。

休日は、日高管内の観光牧場で往年の名馬と触れ合ったり、同僚と道内の色んな観光地に遊びに行ったりしています。道外から就職するのは不安も感じるかもしれませんが、北海道庁は、北海道の溢れる魅力を日々堪能できるおすすめの職場です。

専門外からの就職

オホーツク総合振興局 東部耕地出張所

技師 **松田 竜汰**

室蘭工業大学卒 **2019年採用**

大学では、農業とは関係がない金属強度に関する研究をしていましたが、在学中、大学にリクルート活動に来た大学OBの先輩職員の話聞き、農業土木に興味を持ちました。農業や農業土木に関する専門的な知識がなくても、上司や先輩職員の手厚いサポートがあることも大きな決め手です。農業土木の仕事は、工事の過程で、自分の担当している現場が徐々にできあがっていく様子を見ることができることが大きな魅力であり、やりがいを感じる場所だと思います。

休日はその地域のグルメや温泉などをゆっくり堪能したり、夏休みや冬休みを活用して道外へ旅行したりして、おもしろい楽しんでいます。
※夏季休暇5日、冬季職務免除(冬休み)2日が付与されます。

農業土木の知識がなくても
一から仕事を教えて
もらえるので安心です



民間企業からの転職

農政部 農村振興局 農村整備課

主査(ため池調整) **亀森 隆志**

北海道工業大学卒 **2017年採用**

前職で関わりがあった道職員の方から東日本大震災の被災地支援に行った話を聞き、自分も困っている人の力になりたいと思ったのが北海道庁に興味を持ったきっかけです。転職後もこれまでの経験は生きていますが、慣れない仕事が多く初めは苦労しました。ただ、そんな時にも課内のメンバーが助けてくれて、農業土木職員のチーム力を実感しました。

転職して、働きやすいのはもちろんのこと、休暇が取りやすいこともありプライベートも充実しています。農業土木の仕事は、水利施設や農道など造ったものが形に残るので、子どもに「この農道、お父さんがつくったんだよ」と言えるのがとてもいいですね。



日本の食を支える
北海道農業と一緒に
元気にしていきましょう！